



最近、映画「ナルニア国物語」(3月上映)が話題になっています。このお話は、クリスチャンの少ない日本ではあまり知られていませんが、海外では結構有名。「著者や題名くらいは知っている」という人も多いのです。でも、同じ“有名”でも、ハリーポッターのような意味とはちょっと違います。このお話の原作者 C.S.ルイスは、第一次、二次大戦の時代に生きた、イギリスの信仰深いクリスチャンの学者。その彼が、神様・イエス様・聖霊様と私達人間の関係のイメージをなんとかして伝えたいと願い、ファンタジー小説として表したがこの「ナルニア国物語」なのです。教会にはルイス氏が書いた信仰書もあるので、興味のある方は原作とあわせて是非どうぞ。ところで、何故CS通信でこの話題?同じ“CS つながり”?いえいえ、そうではありません。今、礼拝では“主の祈り”を中心にメッセージが語られていますが、その中に「御名が崇められますように」とあります。ルイス氏は、この物語を神様の御名が崇められるように、と祈りつつ書きました。そして今、すばらしい映像に!でもこの映画はただのエンターテイメントとして、しかも撮影技術の凄さにばかり注目が集り、ルイス氏がどんな願いでこの物語を書いたのか、という事には関心が寄せられていません。これでは神様の御名が崇められることにはなりません。「イエス様がいない巷のクリスマス」と似ていますね。だから「ダメ」と否定すべきでしょうか?いえいえ、そうではなく、きっと“神様の御名が崇められるため”にすべき事が、時代を超えて、私達にも引き継がれ、委ねられているのだと思います。

< 五日：お誕生会 >

2月生まれの方、お誕生日おめでとう!
祝福のお祈りと、プレゼントがあります。



< 予告 >



3月下旬に、卒業・進級お祝いを、今年も予定しています。場所や内容について、リクエストやアイデアなどがあったら、是非先生へ提案してください。

今月の御言葉

「...しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」 ルカ 22 : 32

2月のメッセージの聖書箇所

	聖書箇所
5日	マルコ 14 : 32 ~ 36
12日	マタイ 6 : 25 ~ 26
19日	ルカ 23 : 32 ~ 34
26日	コリント 10 : 13